

TOTO

切替バルブ / 開閉バルブ

TBV02101型
TBV02103型
TBV02104型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	警告 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

は、してはいけない「禁止」内容です。
左図は、「分解禁止」を示します。

警告	
	禁止 給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	分解禁止 この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

注意	
	切替(開閉)バルブの配管接続を間違えないこと 吐水しない、止水しない、組み合わせと違う接続器具から水が出たりします。
	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	凍結が予想される場所に設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	切替(開閉)バルブは、必ず強度のある壁・建築構造体に、適切な固定ねじで取り付ける 土壁・石膏ボード壁などの強度のない壁に切替(開閉)バルブを固定すると、壁が壊れたりして、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	必ず実行 切替(開閉)バルブの樹脂カバーと壁のすき間はシリコン塗布、防水シートにより確実に防水処理すること 水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.07MPa (流動時) (エアインクリックタイプ、3モードタイプの場合は0.1MPa) (オーバーヘッドタイプの場合は0.15MPa)
	最高水圧	0.75MPa (静止時)
使用最高温度	85℃以下	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度	1~40℃	
用途	パブリックおよび一般住宅浴室用	

3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機の設定温度は、使用する吐水温度より高めに設定してください。
- やけど防止のため、給湯機の給湯温度は60℃を越えない設定をください。快適な吐水温度を確保するために50~60℃設定をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

バルブ本体	ハンドル部
TBV02101型 養生カバー 開閉バルブ プレート 樹脂板	 止めねじ キャップ 切替(開閉)ハンドル
TBV02103型・TBV02104型 養生カバー 切替バルブ プレート 樹脂板	その他 施工説明書 ねじ (4本) 必要部材 シリコン 固定ねじ (現場調達)

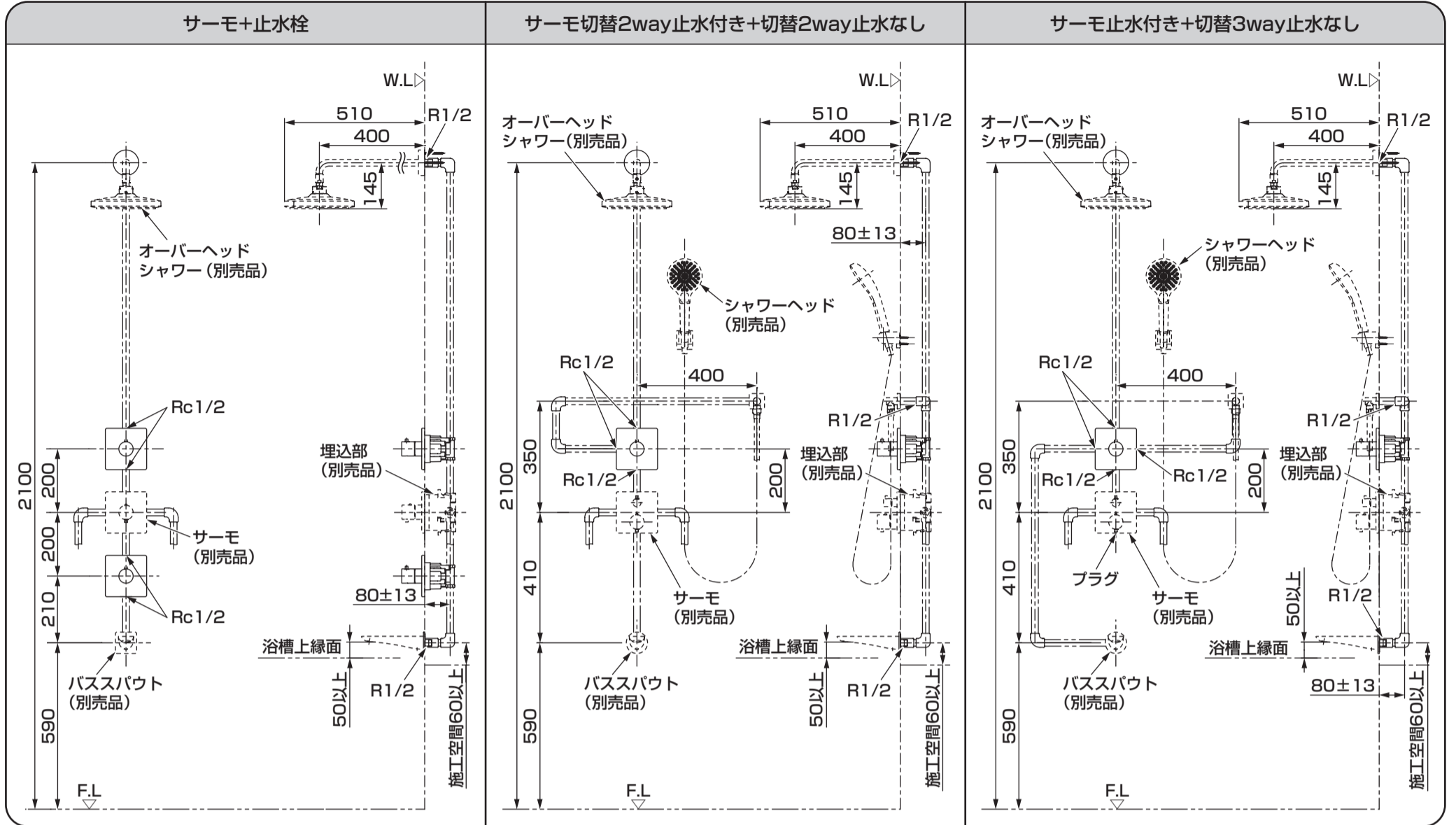
※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

裏面へつづく

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

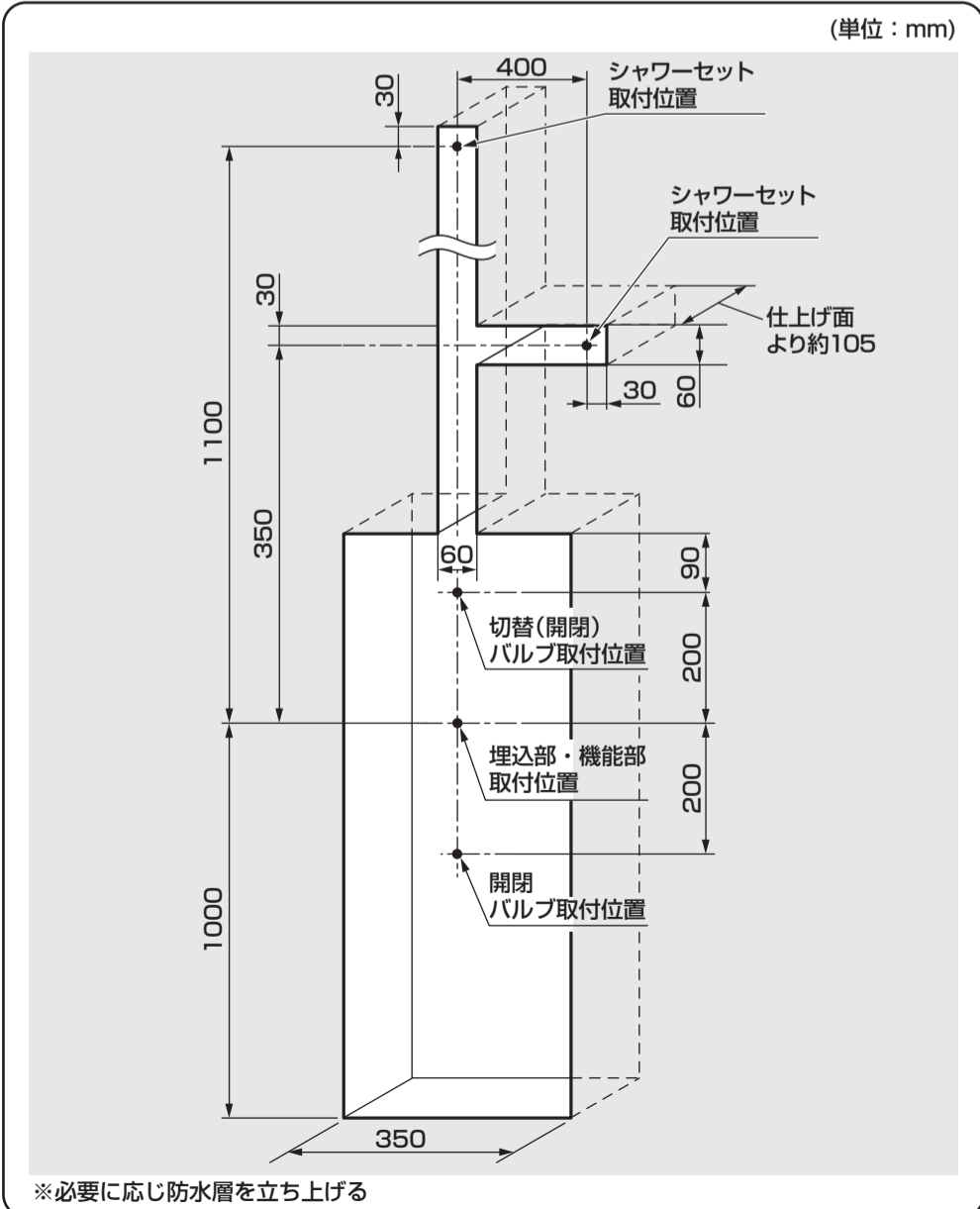
(単位: mm)



※現場にあわせて寸法調整してください。

6 下準備

下記寸法で、水栓器具の設置場所を確保してください。



※必要に応じ防水層を立ち上げる

7.1 施工手順

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1 取り付け前に
給水・給湯管内の清掃 | 4 取り付け後に配管内の清掃 |
| 2 切替(開閉)バルブの取り付け | 5 壁の仕上げ |
| 3 切替(開閉)バルブの固定 | 6 プレートの取り付け |
| | 7 ハンドルの取り付け |

1 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

商品を取り付ける前に
必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

注意

給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。
給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。
①吐水量が少ない ②温度調節がうまくできない

※給水、給湯管内の接続については、別途「埋込部施工説明書」を参照のうえ、取り付けてください。

2-1 切替(開閉)バルブの取り付け

切替(開閉)バルブを水の入口と出口の方向に注意して埋込部に接続する。

注意

養生カバーを直接持たないでください。
養生カバーが外れて切替(開閉)バルブが落下するおそれがあります。

切替バルブの水の入口と出口の方向



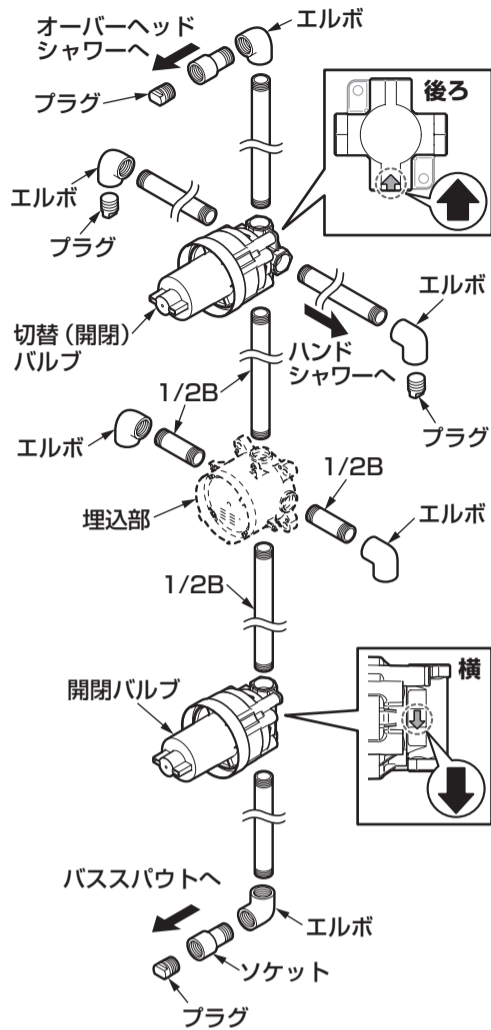
次項へつづく

2-2 切替(開閉)バルブの取り付け(つづき)

注意

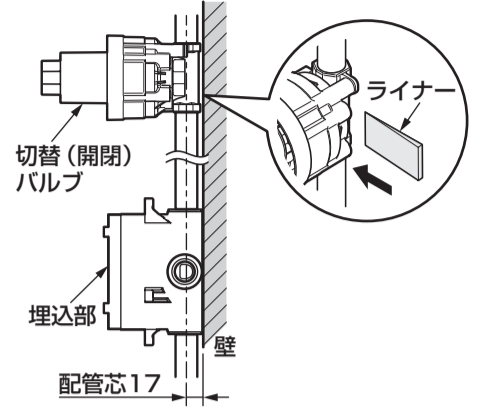
- バルブの水の入口と出口の方向を間違えないように注意してください。向きを間違えると正常に吐水しません。
- 接続には、市販品の配管部材を別途手配してください。
- 接続箇所には、必ず配管用シール材を使用してください。
- 養生カバーは紛失しないように注意してください。

※TBV02103型は本体のねじ加工がない部分はふさぐ必要はありません。



3 切替(開閉)バルブの固定

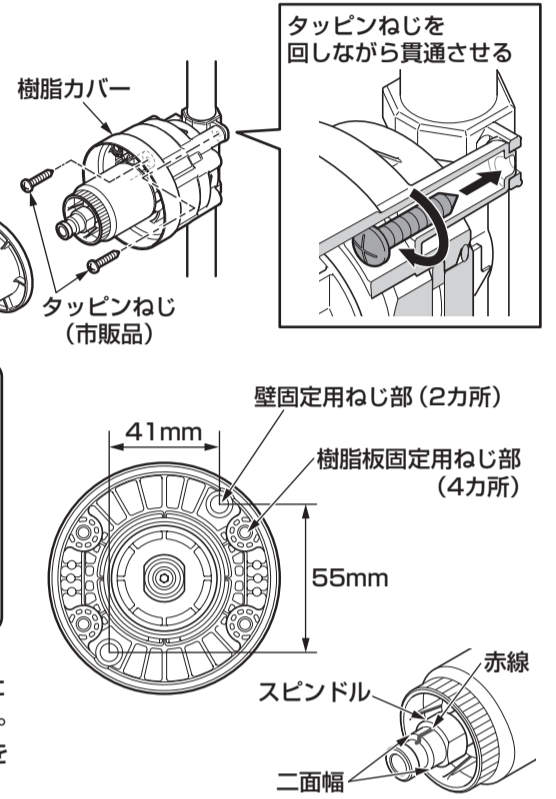
- ①切替(開閉)バルブと壁との間にライナーを入れて固定し、埋込部との配管芯をあわせる。
 - ②必ず、上下、左右が水平、垂直になるように取り付ける。
 - ③埋込部を壁に固定後、養生カバーを抜き取る。
 - ④樹脂カバーの壁固定用ねじ部にタッピンねじを貫通させて固定する。
- ※使用可能タッピンねじ径
 ・ねじφ5以下
 ・ねじ頭φ9.5以下



注意

- 各配管は、パイプホルダーなどを用いて十分に固定し、器具が動かないようにしてください。
- 配管と埋込部のねじ接続部には負荷が加わらないように取り付けてください。

- ⑤スピンドルの赤線を上方向にあわせたとに、養生カバーを再び取り付ける。
- ※スピンドルと養生カバーの二面幅をあわせる。



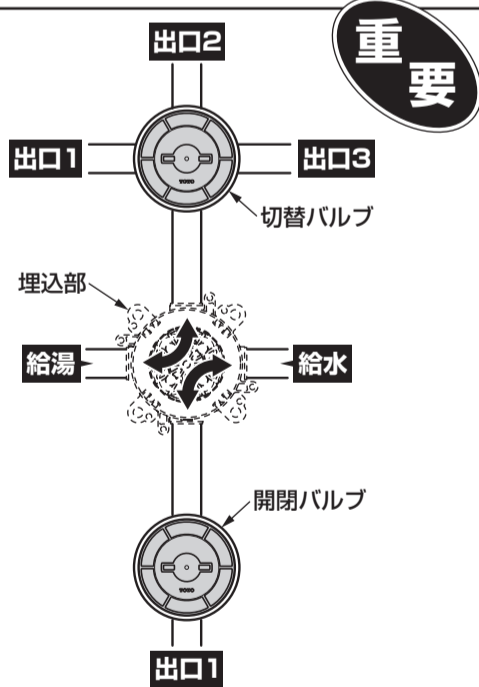
4 取り付け後に配管内の清掃

- ①壁固定後、切替(開閉)バルブに通水し、接続部分から水漏れがないことを確認する。
 - ②切替(開閉)バルブの養生カバーを回転させてバルブを開き、それぞれの出口から配管内のごみ、砂などを洗い出す。
- ※埋込部(別売品)の水の流れる方向は、別途「埋込部施工説明書」を参照してください。

注意

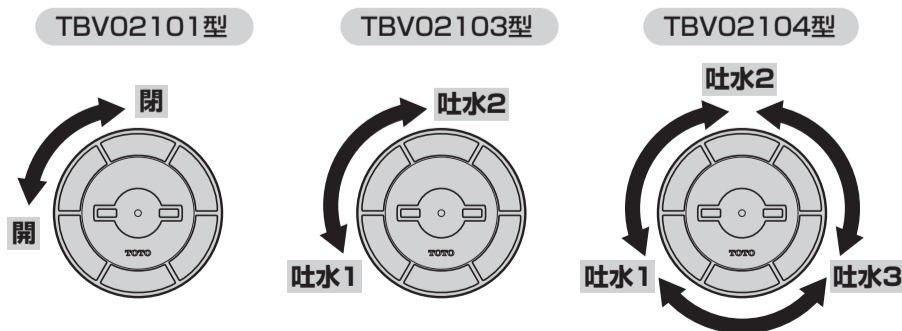
配管内の清掃後は、元栓を開めてください。

給水・給湯管内の洗浄後に
8点検項目(①)を確認する。



水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、養生カバーを回転させて、水が下図のように出ることを確認してください。



TBV02103型・TBV02104型
 ※各出口(吐水1、吐水2)の中間位置では少量吐水します。故障ではありません。

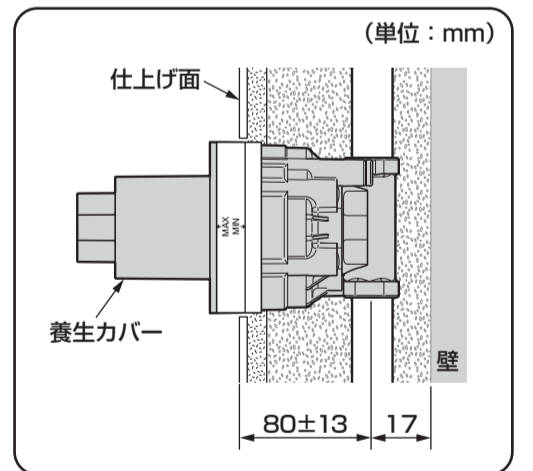
建築工事について、他業者様が実施する場合は、以下項目について、申し送りをしてください。

5-1 壁の仕上げ

- ①モルタルなどで埋め戻す。

注意

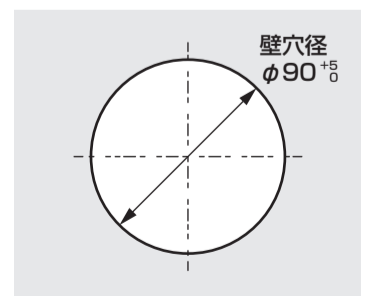
- 養生カバーの内側にモルタルなどが入り込まないように注意してください。
- 各配管はパイプホルダーなどを用いて十分に固定し、器具が動かないようにしてください。



- ②側面に表示してある仕上げ範囲内に納まるように壁の仕上げをする。

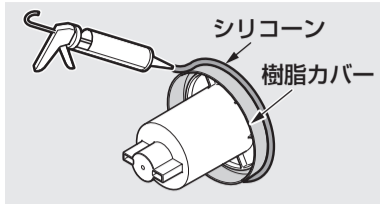
注意

- 仕上げ範囲を超えるとプレートなどの正常な取り付けができませんので、壁仕上げについては十分に打ち合わせしておいてください。
- 壁の開口が規定を超えるとプレートなどの正常な取り付けができませんので、壁の仕上げ材の開口はφ90⁺⁵としてください。
- 養生カバーはプレートを取り付ける時までかぶせたままにしておいてください。

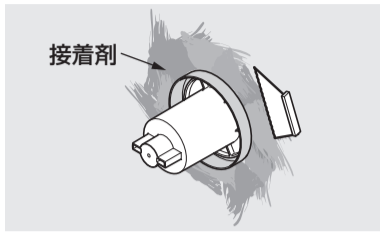


5-2 壁の仕上げ(つづき)

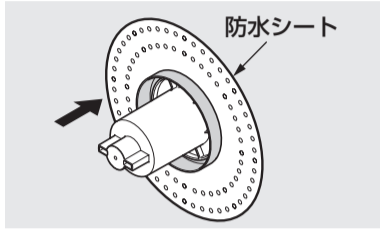
③切替(開閉)バルブの樹脂カバー周囲の壁とのすき間に、シリコンを塗布し防水処理を行う。



④壁材指定の接着剤を壁面に塗布する。

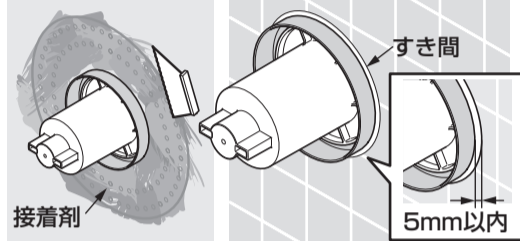


⑤防水シートを埋込部に取り付け、壁面に接着する。



⑥接着剤を塗布する。

⑦壁を仕上げて完成。



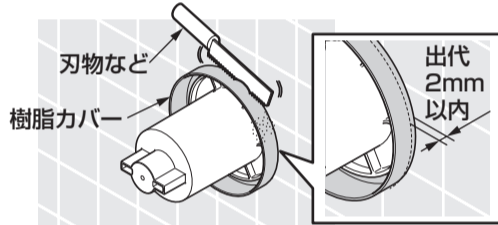
注意

仕上げ壁と埋込部のすき間は5mm以内になるように仕上げてください。

6-1 プレートの取り付け(準備)

樹脂板は、給水・給湯管内の清掃を行ったあと、元栓を閉めて取り付ける。

①切替(開閉)バルブの樹脂カバーを壁仕上げ面からの出代2mm以内で切断する。
仕上げ面より凹にならないこと。

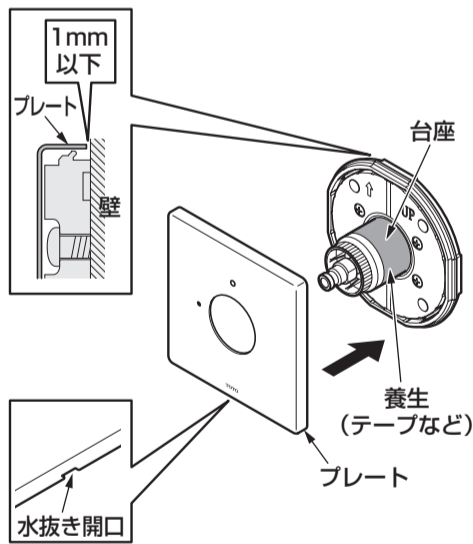


6-3 プレートの取り付け

⑤水抜き開口が下側にあることを確認する。

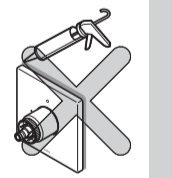
⑥防傷のため台座を養生(テープなど)する。

⑦プレートを押し込む。
プレートと壁との隙間が1mm以下になるよう、プレートを押し込む。



注意

プレート周囲へのシリコンの塗布はしないでください。プレート内の排水ができなくなります。



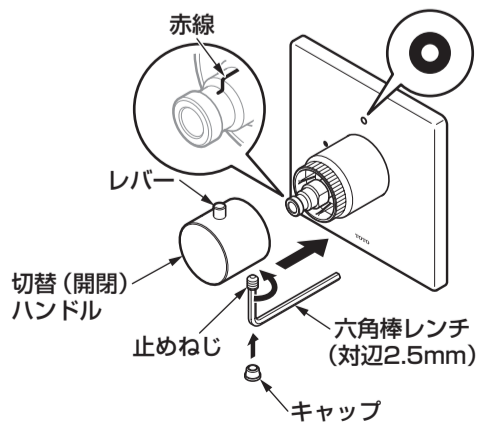
7 ハンドルの取り付け

①スピンドルの赤線とプレートの表示の開閉バルブ"O"切替バルブ"2"が、あっていることを確認する。

②切替(開閉)ハンドルの"レバー"とプレートの開閉バルブ"O"切替バルブ"2"をあわせてはめ込む。

③切替(開閉)ハンドルを六角棒レンチ(対辺2.5mm)を使用して止めねじで固定する。

④キャップを挿入する。



点検項目

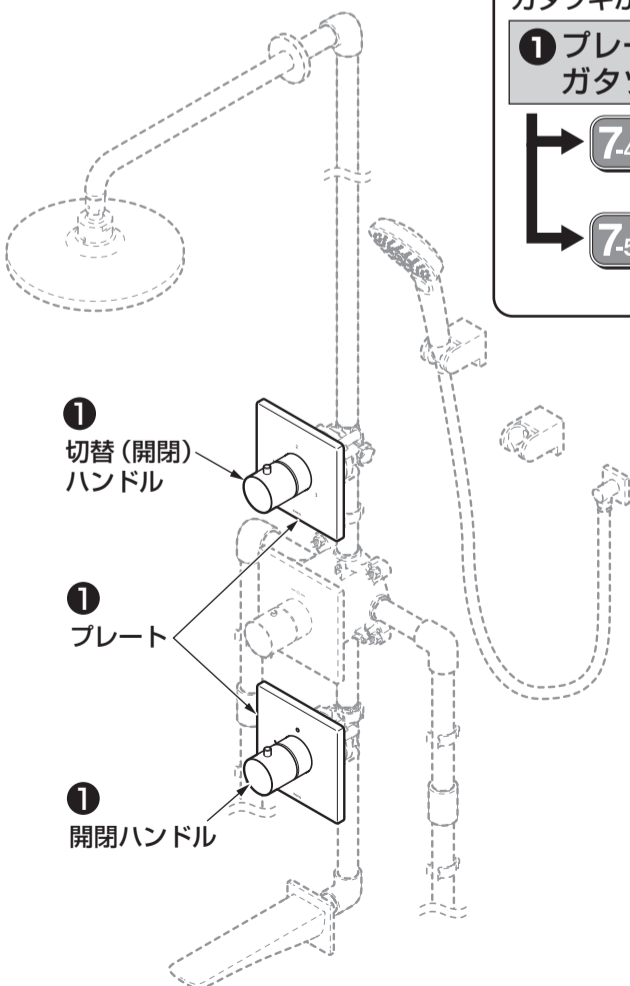
取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

①プレート・ハンドルのガタツキはないですか？

- ➡ 7-4 - 6-1 「プレートの取り付け」参照
- ➡ 7-5 - 7 「ハンドルの取り付け」参照



① 切替(開閉)ハンドル

① プレート

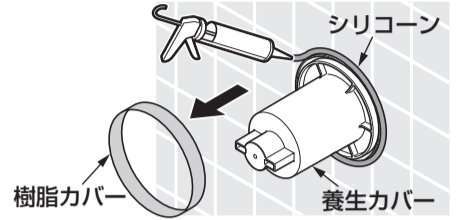
① 開閉ハンドル

注意

樹脂カバーの切断は

- 刃物(パイプソーなど)で行ってください。
- 折る・曲げるをした場合、樹脂カバーが破損するおそれがあります。
- 仕上げ面に傷をつけないよう、養生をしてください。
- 商品の傷付き防止の為に養生カバーは必ず取り付けてください。
- 養生カバーは切断しないでください。

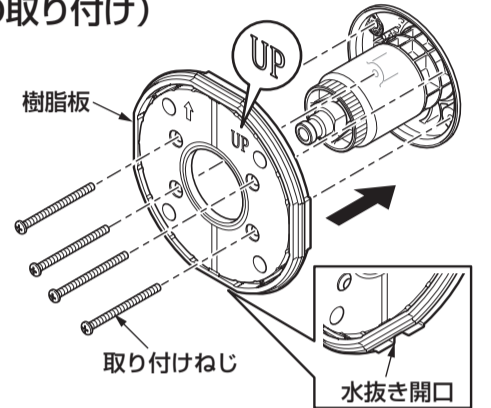
②埋込部周囲の壁とのすき間に、シリコンを塗布し防水処理を行う。



6-2 プレートの取り付け(樹脂板の取り付け)

③養生カバーを外す。

④シール材のついた方を壁側にして樹脂カバーのねじ部と樹脂板の取付穴の位置をあわせて挿入し、取り付けねじで固定する。



注意

- 樹脂板を"UP"が上になるように取り付けてください。
- 取り付けねじは、樹脂板シール材がつぶれる(樹脂板と壁のすき間がなくなる)まで締め込んでください。
- ねじを強く締め過ぎると、樹脂板が変形しますので、注意してください。
- プラスドライバーで締め込んでください。電動工具は使用しないでください。

